

化学療法治療レジメン

申請書
計画書

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉 → 〈化学療法委員会〉

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉

芳珠記念病院化学療法委員会

治療レジメン名：	胃-2 ハーセプチン/nabPAC	総投与時間：約1.7-2.7時間
申請医：矢野 聖二Dr	催吐性リスク：軽度	最新登録日：2021年 8月

	薬剤名	投与方法	投与量	投与日	クール
	ハーセプチン	div	初回 8mg/kg 2回目～ 6mg/kg	D1	3週間
	アブラキサン(nabPAC)		260mg/m ²		
対象(適応癌種)	胃癌				

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	デキサート 6.6mg(適宜増減) 生食 100mL	div (ケモセーフ)	250 mL/hr			D1
Rp2	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp3	アブラキサン【 mg/body】 生食 100mL ※生食100mLから必要量の懸濁用生食を抜き取る。残った生食はすべて抜き取り点滴バッグを空にする。 ※1バイアル(100mg)当たり生食20mLで懸濁する。		() mL/hr (30分 かけて)	260mg/m ²	mg/body	
Rp4	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp5	ハーセプチン【初回 mg/body】 ハーセプチン【2回目～ mg/body】 生食 250mL		500 (初回170) mL/hr			
Rp6	生食 50mL		500 mL/hr			